

# 補習校便り

2025年度第3号 2025年7月5日発行 チューリッヒ日本人学校補習校  
ホームページ <https://jszurich.ch/>

校長 長森 千枝

1学期終了にあたり、保護者の皆様のご協力とご支援に心より感謝申し上げます。子どもたちは、現地校と補習校学習を両立させながら、自分の目標に向かって学習に励みました。

6月7日（土）運動会は、雨天となり、昨年度初めて経験した体育館での競技に加え、リレーが屋外で実施できました。運動会は、自分が力の限りがんばり、皆で力を合わせることで、得点が加算され、最後にチームの勝敗が決まるという楽しみがあります。

6月3日（火）には、日本から講演のため欧州に来られていた渡辺道治先生による全日校での講話会を参観する機会に恵まれました。先生は、「学級崩壊」と呼ばれるクラス担任を幾度も経験され、研究や実践を重ねられたことで、子どもたちの心に「やる気の火」がどのようにともるのかを伝える講演活動を各地でされています。先生とお話をさせていただいたときに、スイスで国語を学んでいる本校の子どもたちが、限られた時間で学んだことを定着させていくために、どう学ばせるのかという質問に対し、なぜ学ぶのかを明確にし、学び方を具体的に教えること、漢字は各自の感覚機能の強みを生かした方法を組み合わせて練習させること、自走できるまで、寄り添って伴走することを教えていただきました。

また、渡辺先生は、運動会にも駆けつけてくださり、玉入れやパン食い競走などにも参加いただきました。日本では、運動会が半日になっていたりしているところ、大勢の保護者や関係者、卒業生が集まる大運動会がスイスで盛大に開催され、日本で削減された種目が残っていることに驚かれました。先生から、「ハレとケのハレは、学校生活において大切か。」という質問をいただきました。「それはもちろん大切です。運動会が楽しみで、補習校に通っている子がいるぐらいですから。」と答えました。

日本語環境が日本とは異なる現地で、国語を学び続けることは、並大抵以上の努力を要します。卒業生の言葉を借りて言えば、「続けることに価値があり、続けることで力がつく。日本語ができる、日本を深く学ぶ豊かさを得ることができる。」のです。平日、現地校に通い、せつせと宿題をし、休日である土曜日に補習校に通う子どもたちが「ケ」である忙しい日常を過ごす一方で、年中行事などの非日常である「ハレ」は、特別で大切な日です。子どもの健やかな成長を願い、学校・保護者をはじめ私たち大人は、皆で協力して、このような「ハレ」に当たる部分を子どもたちに与える役割を担っていけるよう力を合わせましょう。

渡辺先生の全日校講話会では、子どもたちが生き生きと学び、心に残る授業となったに違いありません。先生の授業に向き合う態度を目前で見せていただき、心が震えました。私たち教員は、子どもたちが力を伸ばし、楽しく学びを継続していけるよう追究し続けます。

渡辺先生に感謝を込めて、同じ場で先生の授業を見せていただいた私の感想を記します。「授業・学校とは、学び方や行動の仕方を具体的に教え、できたことや挑戦したことを価値づけ、幸せに生きるための技術を子どもに教えて育てる所」

いよいよ夏休みです。日頃は忙しいお父さんやお母さんと、ゆっくり過ごす時間がいつもより増えることでしょうか。おじいさんやおばあさん、親類や友達と楽しい時間を過ごす子もいるでしょう。子どもたちが、楽しく日本語を使い、感じる経験を積み、2学期、元気に学校に戻ってくるのを楽しみにしています。



# お知らせ

## 水曜日授業 調査結果について

水曜日授業希望者少数のため、現時点で水曜日クラス開設には至りませんでした。

## 休暇中 学校メール

夏休み中は、返信に時間をいただきます。

## 証明書発行

休暇中は証明書を発行いたしておりません。早めに、遅くとも発行1週間前には申し込んでください。

## 届出



クラス変更手続きなど、届出や願い出は、7日前までに届けてください。

## 校舎使用願い

学校内の施設を授業以外で使う場合は、校舎使用願いを出してください。  
土曜日に担任か職員室に問い合わせてください。

## 日本語能力試験

毎年12月実施JLPT日本語能力試験が**今年はチューリッヒ大学で実施されません**。近隣国で受験可能です。

<https://www.aoi.uzh.ch/de/japanologie/fremdsprache/jlpt.html>

## 図書室 夏休みの利用

開室日：掲載できません。学校にお問い合わせください。  
利用時間：掲載できません。学校にお問い合わせください  
利用について：貸出・返却のみ  
貸し出し冊数：5冊まで（常時）\*新刊図書：学期中、長期休業中とも1冊まで

注意事項:

1. 返却は、もとの場所に本を戻す。  
(戻す場所がわからない場合は返却コーナーに置く。)
2. 来校・下校の際、必ず職員室に声をかける



## 2学期 教室配置図

## 2学期 教室変更

2学期より、教室が変更になります。ご協力をお願いします。

掲載できません。学校にお問い合わせください。



## 非常時 強化扉ロック



**非常時は、強化扉をロック・施錠します。暗証番号を入れても開きません。**  
中に避難した児童生徒を守るという意図で扉は開けませんので、ご承知置きの上、各自で安全な場所に移動して避難してください。

## 校舎外で不審者に遭遇した場合 保護者の方の避難について

- ・校舎外で不審者に遭遇した場合に備え、普段から危機意識を持ち避難場所を確かめておくようにしてください。
- ・避難場所と避難経路は、校舎掲示板に掲示しています。
- ・アラームが鳴ったら、物陰に身を隠しながら安全な場所に移動し、校舎敷地から離れてください。
- ・アラームの後、ロックダウンの放送があります。放送が入ること＝「『緊急』であること」放送で「(不審者がいる場所)で集まっています。みなさんは、それぞれの場所に集合してください。」と聞いたら、速やかに避難してください。
- ・学校敷地内で不審者を発見した際は、電話などで直ぐに学校に知らせてください。



### 防犯アラーム

校舎内、体育館の計6か所に設置。指をかけて引くことで作動します。アラームを押すと、現地の警備会社に直結し、学校の異変を認識した警備会社からウスター警察に連絡されますので、誤った通報のないように、十分注意してください。

## 学校敷地付近への路上駐停車について



登下校時の児童生徒の安全確保と近隣住民への配慮のため、学校敷地付近の停車も、短時間であってもご遠慮ください。通りの通行を妨げる停車に関し、マナーをお守りいただき、車両でお子様を送迎の際は、近くの駐車場にご駐車ください。皆様のご協力をお願いします。

## はちまき返却



運動会で使用したはちまきは、洗濯して、アイロンをかけて返却してください。来年も皆が使えるよう、未返却の場合は必ず返却してください。



## 作品応募について

各種作品応募は、「作品コンクール年間予定表」をもとに、各自で案内サイトの応募要項をご覧ください。応募票を作品に添えて学級担任に提出してください。

補習校 作品コンクール年間予定表 [https://jszurich.ch/js204\\_katsudo.htm](https://jszurich.ch/js204_katsudo.htm)

## 漢字総復習試験



漢字総復習試験に合格した皆さん、おめでとうございます。小学部は76%、中学部は57%の合格率でした。小学部平均点は76.4点、中学部は68.1点でした。残念ながら不合格だった皆さん、試験を受けられなかった皆さん、追試験を受けましょう。本年度の追試は8月16日に行います。

今年度も小中学部の合格率が昨年より上がりました。引き続きたくさん見て、手を動かして書くことで漢字の読み書きを身につけ、国語学習に生かしましょう。漢字テストの結果がよくなかったり、勉強の仕方がわからなかったりする場合は、担任に相談してください。

追試験（申込んだ児童・生徒対象）

追試日：8月16日（土曜日）

場所：家庭室（111）

追試時間

①10:20～11:00

②11:00～11:40

③16:10～16:50



## 2・3学期の行事予定

掲載できません。学校にお問い合わせください。

☆毛筆について

用具は学校のものを使います。  
汚れてもよい服装で登校してください。



## まつり

まつり当日、補習校教員は高等部、国際部と共同のくうどん>コーナーで皆様をお待ちしております。



## ウスター駅付近の交通規制

9月6日（土） Stadtfest <https://stadtfestuster.ch/>

9月20日（土） グライフェンゼーマラソン大会

<https://www.greifenseelauf.ch/>

ウスター駅付近は交通規制、渋滞が予想されます。時間に余裕をもって登校させてください。

## 「とんがりぼうし」 取り組み協力依頼

秋からは、文集「とんがりぼうし」の原稿になる作文を書き始めていきます。小学部低学年においては、担任が書き方を指導していきますが、家庭でのご支援をお願いすることもあります。ご協力をよろしくお願いいたします。

## 海外子女教育振興財団 帰国生のための学校説明会・相談会



小・中・高校生段階の児童生徒とその保護者を対象に、帰国後の進学に関する帰国子女受入校の情報や相談の場を提供しています。

本年度は、大阪・名古屋・東京の3会場で実施します。

7月28日（月） 大阪開催 7月29日（火） 名古屋開催

7月31日（木） 東京開催

参加費 無料

詳細・申込み

[https://www.joes.or.jp/kojin/kokunai\\_setsumeikai](https://www.joes.or.jp/kojin/kokunai_setsumeikai)

# 報 告

## 2025年度 学校運営委員会メンバー（6月1日現在）

運営委員長	齊藤 旭	監 事	畦地 俊司
副委員長	金刺 義久	顧 問	阪野 真司
副委員長	玉井 信一郎	委 員	河原 英司
委 員	西 翼	委 員	長森 千枝



### 学校運営委員会・会員総会

2025年5月16日

本年度法人チューリッヒ日本人学校 会員総会

昨年度活動報告と今年度活動計画、決算と予算報告の他、今年度運営委員並びに監事の選出が承認されました。

#### 第1回運営委員会

全日校・補習校それぞれの学校経営方針や児童生徒数の動向、その他の事項について報告、審議され、承認が必要な内容については全て承認されました。

### 幼稚部と中学1年・3年 季節文化交流 5月3日（土） 端午の節句 子どもの日

5月3日（土）、中学部1年2組が幼稚部2組と、中学部3年が幼稚部1組と  
いっしょに、校庭にあるこいのぼりを見に行き、こいのぼりの歌をいっしょに  
歌い、和やかに交流しました。



### 授業参観・懇談会

5月10日（土）に開催し、子どもたちは、家の人に授業での活躍を見ていただき、張り切っていました。



### ローザンヌ日本語学校 教員来校

5月24日（土）に、3人の教員が来校して授業を見学し、本校教員と懇談しました。本校の恵まれた環境や教員の熱意、子どもたちが挨拶をしたり、各学年の教科書で生き生きと授業で学習活動をしていたりしていたことに感心されました。





## 着物クラブ（第一回）

5月24日（土）、本校家庭科室にて「着物クラブ」一回目が実施され、小学3・4年生4名と保護者が参加しました。先生は、補習校の子どもたちに着物文化を伝えたいという思いから、このクラブを立ち上げられました。

子どもたちは、色とりどりの浴衣と帯を持参して集まりました。浴衣の着付けは、洋服とは異なり、浴衣を後ろから両肩にかけ、袖に腕を通します。その後、左右の掛衿の位置を整え、背縫いを背中心に合わせます。先生は、手順を説明しながら、浴衣の名称についても解説されました。子どもたちは先生の実演を真剣に見つめ、保護者の支援を得て、それぞれが着付けました。サイズが大きい浴衣は「おはしより」で調整しました。帯の結び方は、半幅帯は「文庫結び」、兵児帯はリボン結びを斜めにアレンジした「変わり結び」を習いました。

6月と8月にもクラブ活動があり、9月の「まつり」に、自分で着られるようになることが目標です。日本文化継承にご尽力いただいている先生に、心より感謝申し上げます。



## 渡辺道治先生 教員研修

6月3日（火）、一般社団法人「教え方の学校」代表理事である渡辺道治先生の講話会が全日校であり、補習校教員7名が参観しました。渡辺先生は、奈良県や北海道小学校の勤務を経て、日本各地や海外で講演活動をされ、数々の書籍を出版されています。

全日校小・中学部の全児童・生徒を対象とした講話会は、「勉強のこつ」をテーマとし、子どもたちが真剣に見たり、聞いたり、感じたりして考え、生き生きと発言する様子を体感することができました。指導者が、立ち位置や目線、話し方のテンポや言葉掛けを工夫し、子どもたちにやる気を起こさせる技術を見せてくださいました。子どもたちが熱心に考えたり、全力で暗唱したりする姿が印象的でした。

6月4日（水）には、ジュネーブ補習校での教員向け研修会にも、本校から教員がオンラインで参加し、研修しました。学んだことを今後の授業に取り入れていきます。スイスにも足をお運びいただき、ご指導いただいた渡辺先生に感謝いたします。



## 伊藤裕美さんによる国際部での授業アニメテッドラーニング

6月14日（土）に、一般社団法人「アニメテッドラーニングらぼ」の伊藤裕美さんが日本から来られ、本校授業を見学され、国際部中学年と高学年で、授業をしてくださいました。アニメテッドラーニングとは、アニメーションで学習の成果を発表したり、コミュニケーションをしたりする教育メソッドです。

アニメは、どんなことが伝えられるだろう？という問いに始まり、まずは紙一枚でばらばらマンガを作りました。たった2枚の絵でも、漢字が動いたり飛び出たりするように見えて、みんな大喜びです。その後、写真をつなげて短いアニメを作る方法も教えていただきました。習ったことを活用し、中学年クラスでは自分の短歌を、高学年クラスでは自分の名前の漢字をアニメーションに表していく予定です。



## 図書室 原爆パネル展

戦後80年を記念し、6月21日に図書室で、原爆パネル展が開催されました。写真と図を使ったわかりやすい解説を見することで、原爆被害の実相を知り、平和への意識を高める機会となりました。



## 学校ボランティア教育活動 生け花教室

6月21日（土）、本校家庭科室にて華道池坊正教授二級総華監の先生による生け花教室「初夏を生けよう」が実施され、小学3年生から高校生9名の児童・生徒が参加しました。先生に指導いただく生け花教室は、2年目となりました。

水切りや花材の扱い方を教わり、保護者の支援を得て、ガラスの花器に、美しいピンクのガクアジサイとレンギョウの枝、ユキヤナギ、ハマシダを添えて、子どもたちは生け花の世界を楽しみました。当日は、今年もご家族で準備、片付けをしてくださいました。日本の初夏を感じる美しい伝統文化体験を子どもたちにさせてくださった先生に深く感謝いたします。



### （生け花教室講師より）

この度、生け花教室開催に向けてご協力を頂き有難うございました。ご参加頂いた生徒さん、保護者の皆様、心から感謝致します。

生け花を通して、日本文化の豊かさに触れて頂くきっかけになりましたら幸いです。

私自身も学校便りにて以前、出来る時にできる事をして貰えたら有難い、という言葉を読み、何か自分としてできる事を学校に還元したいと思いました。ぜひ参加頂いた方々には学校の方へ感想を頂ければ有難いです。



## 第36回運動会



6月7日（土）、雨の予報のため競技場隣接の体育館で、チューリッヒ日本人学校主催、チューリッヒ日本商工会共催の全日校・補習校合同運動会が開催されました。開会式に続く応援合戦で、全日校キャプテンにならい、全日校と補習校児童生徒がいっしょになって元気に声援を送り合い、赤組も白組も気合を入れて競技開始です。子どもたちは、大玉を運んだり、大掃除をしたりしながら、ゴールを目指して体育館の中を懸命に走りました。玉入れは、子どもたちの後、生徒ボランティアや保護者の皆様にも楽しく参加いただきました。その後、突如、対戦することになった全日校教員と補習校教員の結果は同点で、驚きとともに、ほっと胸をなで下ろし、笑みがこぼれるひと時となりました。

午後一番の雨の切れ間に、屋外トラックに移動して赤白対抗と、大人のリレーができました。2年ぶりのリレーは、観客からの応援を得て、迫力のある走りで大盛況となりました。体育館に移動して、10年目を迎えた補習校和太鼓部が力強く、新しい演目を奏でると、観客席から大きな拍手が送られました。綱引き・パン食い競争に、子ども、卒業生、多くの大人が楽しく参加しました。

今年も白が勝ちました。クラスを超えて全日校と補習校の一人一人の力を合わせて大勢で競う赤白対抗運動会は、子どもたちのよい思い出になったことでしょうか。体育館と屋外トラックの両方で行ったことで、2倍楽しめたのではないのでしょうか。ご参加いただいたご来賓の方々、競技員として協力をいただいたボランティアの皆様、保護者の皆様のあたたかいご支援に心より御礼申し上げます。



ボランティアの皆さん

## 芝刈りボランティアの活動

5月31日（土）午前中に保護者有志の方々が、強い日差しの下、一生懸命芝刈りをしてくださいました。おかげで校庭が美しくなりました。  
ありがとうございました。



## 避難訓練実施



保護者の皆様には、子どもの見本になっていただき、被害を最小限に抑えるために、子どもの避難誘導、窓閉めなど教職員に協力をお願いいたします。

6月21日(土)に、学校玄関前に不審者がいるとの通報を受けたという想定の実験を以下のように行い、ロックダウン・ドリルを実施しました。学校用語でのロックダウン・ドリルとは、学校内に不審者が侵入したときに備えて、子どもや先生が安全な場所に逃げ込み、部屋をロックして待機させる訓練のことです。

### ロックダウンとは

- ・消灯
- ・施錠
- ・バリケード設置
- ・身を隠す
- ・声や音を出さない

### 目的

- ①教職員が子どもの安全を第一とした行動ができるようにする。
- ②安全が確保されるまで、子どもたちに的確な指示を出しながら待機させられるようにする。
- ③緊急時の行動の仕方を学び、安全な行動ができるようにし、防犯に対する危機意識を育む。

### 避難場所

窓からの侵入を考えた上で、いちばん侵入に時間がかかる場所

- ・2階→職員室(102)、103
- ・3階→202、203、204
- ・校庭・体育館→体育館女子更衣室

防犯アラーム音の後、「正面玄関前で集まっています。皆さんは、それぞれの場所に集合してください。」という校内放送を聞き、担任が、子どもたちを各安全教室に避難させました。図書室の子ども、保護者にも参加いただきました。

子どもたちは、教員の指示を受け避難し、施錠された教室側から、バリケードを(高学年以上の児童生徒と)教員が作り、5分間静かに待機しました。その後、不審者確保の連絡を校内放送で聞き、全員が集合場所ドッジボールコートに集まり、人数確認と事後指導を行いました。

事後指導では、一人で不審者に出会ったことも想定し「いか・の・お・す・し」を、集合場所への移動は、「お・は・し・も」を全員で確認しました。



「いか」…知らない人について「いか」ない  
「の」…知らない人の車には、ぜったい「の」らない  
「お」…こまったら「お」おきな声で助けをよぶ  
「す」…その場から「す」ぐにげる  
「し」…近くのおとなに「し」らせる

「お」…「おさ」ない  
「は」…「はし」らない  
「し」…「し」やべらない  
「も」…「も」どらない

### 火災時の場合の避難経路と避難場所 火元により異なります。

- 避難場所① 校庭の砂場近くのりんごの木の横  
避難場所② 正面玄関近くのカワウソの池前

### 非常事態が起こった場合

- ・防犯アラーム音の後、校内放送を聞き先生の指示に従い、避難場所に迅速に避難します。
- ・避難場所では、引率教員の指示を受けて静かに待機します。



中学1年2組 基本行動説明

大使館の安全指導担当官に、11時の時間帯の訓練を避難教室に入ってご覧いただき、全体に指導をいただきました。学校の安全対策についても、ご指導いただきました。

# 子どもの広場

## 小学部二年一組

「日記を書こう」

フランスのソンわんに行きました。ガイドの人が教えてくれたので、たくさんのアザラシを近くで見ることができました。

りん海学校でいちばん思い出にのこったのは、フランスのピラさきゅうの上で、大きなあなをほったことです。楽しかったです。

友だちとプールで、太くて大きなうきわでふねをつくりました。とつぜんふねがくずれてプールにおちりましたが、楽しかったです。

トマトのなえが、三十センチメートルだったのが、二しゅうかんたった今では、五十センチメートルになりました。

日本から〇くんがきたので、家のNゲージであそんだあと、ゼクセロイテンのパレードを見に行きました。楽しかったです。

※NゲージIIてつどうもけいのこと。

今日、友だちとあそびました。まず、私の家でおやつを食べました。その後、友だちの家でゲームをしました。楽しかったです。

おかあさんとプールへ行きました。たくさんおよいだあと、プールの中でおにごっこをしてあそびました。楽しかったです。

じゅぎょうさんかんで、妹がぼくのとなりですわりました。妹はじぶんも小学生だと思っていたようすがおもしろかったです。

わたしは、春休みに日本にあそびに行きました。ラーメンミュージアムに行って、ラーメンを作りました。とても楽しかったです。



春休みに日本へ行き、母の姉かぞくやそふぼに会いました。てんぷらや、ソフトクリームなどおいしいものを食べ、楽しかったです。

## 小学部二年二組

### 春休み

#### ベルギー

春休みは、おねえちゃんのすむベルギーに行きました。

おねえちゃんは、ルーベンにある大学にかよっています。

たのしいところでした。

#### テクノラーマへ行く

春休みにテクノラーマに行きました。

さんそのショーで、ふうせんがばくはつしました。大きな音がして、すごい風がきました。びっくりしました。

#### フランスでキャンプ

わたしは、キャンプに行きました。

フランスで、おいしいパンを食べました。おいしいチーズも食べました。



## ドイツニerland

春休み、いとこと、ドイツニerlandに行きました。  
ピーターパンのふねは、とんでいるみたいでたのしかったです。

## 春休みのプレゼント

ぼくは、春休みに日本へ行きました。  
ともだちにやきゅうのグローブをもらいました。  
とてもうれしかったです。



## ぼくの春休み

ぼくは、春休みにドイツのおじいちゃんとおばあちゃんのいえにあそびに行きました。  
おにわでいっしょにあそんでたのしかったです。

## 春休み

ぼくは、春休みに日本へ行きました。  
とうきょうタワーにのぼりました。高いところから見るとうきょうは、広くてとてもきれいでした。

## バルセロナ

わたしは、バルセロナに行きました。  
おばあさんとおじいさんとすいぞくかんに行きました。  
たのしかったです。

## ぼくの春休み

キャセーパシフィックで日本へ行きました。  
そこで、おじいさんとおばあさんとテレビを見てあまりうごかなかったので、ママに太ったと言われました。

## キューケンホフ公園

春休みにオランダのキューケンホフ公園へ行きました。  
いろんないろのお花を見たり、きゅうこんをかったりしました。  
たのしかったです。

## バレンシア

ぼくは、春休みに、スペインのバレンシアへ行きました。  
日ざしがつよくて、すなはまで、あそんだら日やけをしました。

## 春休み

ことし、日本でジェットコースターにはじめてのりました。  
こわかったけれど、たのしかったです。

## 春休み

ぼくは、はくぶつかんでたんじょう日会をしました。  
中を見学したり、か石のおもちゃをつくったりしました。



## 小学部五年一組

### 春の空

春を感じるものや春の思い出

### 春のにおい

わたしは、春のにおいが好きです。春になると、花がたくさんさくからです。その中でも、特に桜の花が好きです。うすいピンク色がとてもきれいだと思います。  
わたしの家の周りでも、数本桜の木を見かけることがあります。これらの桜の木の花がさくと、わたしは春を感じます。花びらがたくさん散ってくると、道路がピンク色にそま

ります。わたしは、その花びらを集めて、花さかじいさんのように投げるのが好きです。今年の桜の時期は過ぎ去ってしまいました。が、来年もまた見るのが楽しみです。

## 花粉しよう



ぼくは、花粉しようです。小さいころから、春になると、くしゃみと鼻水が止まらなくなり、目もとでもかゆくなります。あまりに、しょう状がひどいので、父と母が医者に連れていってくれました。その時から、花粉しょうの薬を飲むようになりました。けれども、二、三年くらい前から、薬を飲んで、しょう状がひどいままだだったので、アレルゲンのめんえきりょう法を始めました。そのおかげで、しょう状がよくなりました。

春は、花粉はきらいですが、いちごが食べられるので、うれしいです。

## 春

たんぽぽがさき始めたら、春が来たなと思います。春は楽しい季節です。はだしで草の上を歩くと、気持ちがいいからです。

しかし、いやなものもあります。ツエツケというマダニで、長さ五ミリメートルの寄生虫です。かまれても、いたくないですが、コレラやチフスなどの病原性の高い病気をばい

かいするので、とてもやかいです。のがれようとしても、どの草むらにも生息しているので、さけることはできません。そして、黒いので、ほくろと見分けがつきにくいです。春は楽しいけれど、多くの虫も目覚める季節です。

## 春の好きどころ

春の好きどころは、だんだんと日が長くなってくるところです。天気の良い日は、午後七時でもまだ明るく、夕方とは思えません。一日が長くなったような気がして、得をした気分になります。

春は、きれいな花がたくさん咲くところも好きです。わたしの好きな花は、ウイステリアという花です。日本語では、藤の花というそうです。むらさき色の花びらが、地面に積もった上を歩くのが好きです。

## 春の花

わたしは、花がさき始めたら、春が来たなと感じます。赤、白、ピンク、むらさき、黄色など色とりどりの花がさき、今までグレーだった季節に色がつき始めます。その様子を見ると、心がうきうきします。

わたしは、特に桜が好きです。なぜかというところ、うすいピンクと白い桜の花がとても美しいからです。桜の花を見ると、わたしが小さいのときに、日本で桜を見たときのことを思い出します。今でも、桜を見ると、幸せで、なんだか楽しい気持ちになります。

## ぼくの春休み

ぼくは、春休みに日本へ行きました。最初の週は、ポケモンカードを買って、遊びました。そして、少しかみを切りました。

二週目は、石垣島へ行ききました。石垣島で散歩をしていたら、クジャクに出会いました。クジャクは、ぼくたちがいたから、びっくりしたのか、飛んでいきました。ぼくも、それを見て、とてもびっくりしました。石垣島では、シュノーケリングもして、魚をたくさん見ました。最後に、友達へのお土産を買って、帰りました。また日本に行くのが楽しみです。

## 色あざやかな春



わたしは、庭から聞こえてくる音で、春のおとずれを感じます。例えば、ミツバチが花に飛んでいく音や、鳥が鳴く音などです。

まどの外の新しく出てきた小さな葉がある木をながめると、明るい緑色をしています。庭の周りには、花がたくさん植えられています。春には、色とりどりの美しい花を見るのができます。

春は、とても色あざやかで、特別な季節だと思えます。あたたかくなって、みんながTシャツを着ていたり、友達といっしょにアイスクリームを手にとって、湖ぞいを歩いたり

するのも、私にとって、春を感じる瞬間です。

## ぼくの春

春といえば、ぼくにとっては、庭の八重桜です。母が、数年前に植えました。桜はとも速く大きく成長し、根ざりも大きいので、本当は庭に植えないほうがよいそうです。でも、どうしてもスイスでもお花見がしたくて、植えたそうです。

母は、花がさくと、花をつんで、シロップやジャムや桜茶を作ってくれます。桜の花の塩づけで、桜おにぎりも作ります。ぼくのお気に入りには、シロップです。



## 楽しい春

春といえは、何といっても、ぼくのたん生日があります。三月二十七日に、ぼくは十さいになりました。友達をよんで、たん生日パーティーをしました。祖父母や、ゴッテイトお祝いもしました。

また、春には、イースターがあります。ぼくは、毎年、チョココレートさがしをします。祖父母からはチョココレートなどのプレゼントを、両親からは小さいレゴをもらいました。このように、春には楽しいことがたくさんあるので、ぼくは春が大好きです。

※ゴッテイトー後見人。

## 春の楽しいこと

春になると、ぼくは、アレルギーのせいで、クシユン、クシユンとくしゃみが出ます。花粉しょうがあるのです、春はつらいです。でも、あたたかくなってくると、外に出て遊ぶのが楽しい季節になります。

さらに、春の楽しいことは、ぼくのたん生日です。プレゼントをもらえるし、友達や家族と過ごす時間が好きです。

春は、休みの日がたくさんあるので、家族と旅行に行くこともできます。春はいい季節だなと思います。

## 春休みの思い出

ぼくは、春休みに日本に行き、山梨県で、ほうとう作りを体験しました。ほうとうとは、たけだしんげん武田信玄が開発した料理で、山梨県の名物です。

まずは、小麦粉と水をまぜて生地を作りました。ビニールぶくろに入れて、五分くらいねかせ、次に、八分間練りこみます。めんぼうで生地を平たくのばして三つ折りにして、一センチメートルはばに切って広げます。最後に、季節の野菜をにこんだ、しるにめんを入れ、みそをとかして、完成です。ほうとう作りは、楽しかったです。おいしかったですので、また作りたいたいです。

## イースター

お店に、ウサギやたまごの形のチョココレートがらぶと、春を感じます。イースターの季節です。

イースターでは、たまごやウサギの形をしたチョココレートを食べたり、色をぬったゆでたまごを使って遊んだりします。たまごは、新しい命の印で、ウサギは、子どもをたくさん産むので、命のイメージがあるそうです。

ぼくは、たくさんチョココレートや、ゆでたまごを食べられるので、イースターが大好きです。日本では、あまり知られていないのですが、スイスの楽しい春の行事です。

## わくわくする春

春になって、あたたかくなり、庭にたくさん花がさいています。父と母は、庭仕事を始めました。野菜の種やなえを植えるのを、ぼくも手伝います。

もうすぐ、ニワトリを飼い始めます。毎日たまごを拾うのは、ぼくの仕事になります。どのくらいいたくさんのたまごを産んでくれるのか、わくわくしています。

もう一つ楽しみにしているのは、日本人学校の運動会です。ぼくは、太鼓の演奏をするので、みんなにきいてもらえるのが、とてもうれしいです。



## わたしの春

わたしにとって、春は、あたたかい季節です。バルコニーには、父の植えたアーモンドの小さな木が、毎年きれいな花をさかせます。

春に、いちばん楽しみにしているのは、日本に行くことです。毎年、春休みは、二週間たっぷり日本にいます。祖父が買ってくれるいちごは、スイスのいちごよりあまくて、おいしいです。いつか、わたしも一人で日本まで行きたいと思います。

## 小学部五年二組

### ぼくの春



春は桜がよい。桜は、日本の伝統と文化のしょうちようだからだ。スイスで桜を見たことがあるが、日本でも見てみたいと思っている。なぜかという、日本には、たくさん桜の名所があるからだ。

こどもの日のこいのぼりも好きだが、家にはかぎっていない。春はイースターもよい。イースターハントで、イースターエッグをさがすことと、見つけたチョコレートを食べることは、楽しい。春はぼくにとって、とても楽しい季節だ。

春はイースターがよい。特に、チョコレートをたくさん食べられることがうれしい。チョコレートを見つければいろいろな活動も、とても楽しい。

イースターを祝う春休みもよい。花がさいているきれいな景色を楽しむ。学校が休みなので、家で過ごす自分の時間や家族と旅行する時間も好きだ。

いちごがりでいちごをたくさんつむことや、家でその種をまいて育てることも、春の楽しみだ。

春といえば雪解け。冬の間あんなに積もっていた雪が解けて、ぼちぼち下の地面が見える。だんだん草も伸びてきて、緑色が広がり、生き生きする。しかも三月は、ぼくの誕生日だ。

まだ暑くないので、友達と外でサッカーするのはとてもいい。何と言っても、あのうるさいスズメバチもまだ出てこない。

ぼくのたん生日パーティーを庭でして、明るい春が来たのを思いっきり楽しもう。

ぼくが春と聞いて真っ先に思いうかべるのは、ベアラオホだ。春になって、森でニンニクのようなにおいがする草を見つけたら、それがベアラオホだ。

友達と学校の近くの森へ行ったとき、ベアラオホを見つけた。動物が森にいるので食べないほうがよい。ぼくは、友達の家の庭できれいな葉をつませてもらう。その葉を母がペーストにしてくれる。それをゆでたてのスパゲッティにかけると、最高においしい。これが、ぼくの春の楽しみだ。

ぼくは春が好きだ。なぜかという、あたたかくてよい天気だからだ。

天気がよく、サッカーフィールドでサッカーができる。しばの上でのサッカーは、転んでもいたくないので友達とじっくり遊ぶことができる。ぼくは、すべりこんでボールを取りに行く。つかれたときは、しばの上でねころぶ。

小春日びより和に、しばの上で、友達と全力でサッカーをするのが、ぼくの春の楽しみだ。

## 国際部中学年

これまで補習校で学んだことと、これから学びたいこと



僕がこれまでウスターの日本人学校で学んだことを、この作文に書きます。

それは、漢字です。日本語を使うには、漢字が必要です。難しいけれど、日本語には本当に漢字が大切なので、仕方がないです。今、習いたいことも、漢字です。なぜかという、日本語能力試験に合格したいからです。今は「N3」ですが、「N2」には落ちました。だから、高校生の終わりまでに、漢字をがんばりたいです。

私は、今までいろんなことを学びました。漢字や音読、話し方などです。いちばん楽しいことは、たぶん読むことか話すことだと思いますが、漢字もおもしろいと思います。授業で他の勉強もしましたよ。例えば、JLPTの試験勉強や、日本についての勉強です。今まで、大豆のこと、日本の地図と米について習いました。

私が学びたいことは、漢字をさらにすらすら読めるようになることです。もちろん話すことや聞くことも大事ですが、正しく新聞を読めるようになれば、とてもうれしいです。

今まで補習校で勉強を続けてきて、日本語能力試験の三級に受かった。その勉強を通して、読む力がついた。日本語を話す時間も増えて、全体的な日本語力がついた。

次は、二級合格を目標にしている。家を出た後も、母と日本語で話し続けたいから、がんばって勉強を続けていきたい。

また、家族以外の人と話すときに、失礼にならないように敬語をできるだけ学びたい。

今まで日本人学校で学んだことは、例えば漢字やかたかな、そしてひらがなです。それに、日本のお祭りや日本の運動会などの文化です。これは僕がいちばん大切だと思うことです。

それから、学んだことは、まだたくさんあります。例えば、話し方や、聞いて理解することなどです。もう一つ学べたことは、すしに使う材料と、まきずしを作る方法です。これが、いちばん楽しく学んだことです。

国際部のクラスで、日本語能力検定試験の勉強を通して、文法や漢字、敬語などを学びました。母と話すときに、前よりも会話がゆたかになりました。学校で習った日本語を使うことで、日本語がより好きになりました。

これからは、さらに日本語を使って、日本の文化を知りたいです。とくに、日本の神話について、学んでみたいです。

## 国際部高学年

### コミュニケーション



学校の授業でインターネットがテーマになったとき、私は現在のコミュニケーションについて考えました。

昔は、人と連絡を取るには手紙を書いたり会いに行ったりするしかありませんでした。気持ちを伝えるのに時間がかかり、すぐに返事をもらうこともできませんでした。

しかし、電話が発明されてから、遠くにいる人ともすぐ話せるようになりました。声を聞くことで、より多くの気持ちも伝えられるようになりました。

その後、インターネットが普及してコミュニケーションの方法は更に変りました。メール・チャット・SNSなどを使って世界中の人と瞬時にメッセージをやり取りすることができ、数多くの情報を伝えることができます。でも、その利便さの中には問題もあります。

ネットでは、相手の顔が見えないので、言葉がきつくなったり、悪口を書いたりする人もいます。これが「サイバーモビング」と呼ばれる問題です。ネットでいじめられて不登校になる人もいます。ひどい場合は心の病気になったり、命を絶ってしまったりすることもあります。

だから、私たちはこのような新しいツールを正しく使うことが大切です。人を傷つけないために言葉を選ぶように気を配りましょう。相手の気持ちを考え、気を配って行動することも大切です。便利になった今こそ、思いやりのあるコミュニケーションが必要だと思います。



## ヘビーデューティー

この題名を読んで、「ヘビーデューティー」とは何だ？と思っている人がいると思います。ヘビーデューティーは、一九七〇年代のボディビルダーであるマイク・メンツァーの筋トレの方法です。彼の紹介と、筋トレの方法が効果的であるかどうかについて書きま

す。マイク・メンツァーは一九五一年に生まれたボディビルダーでした。その頃のトレーニング方法は、一週間に五回、六時間筋トレする方法が主流でした。だが、彼は、「少なくともほうがもっと効果がある。」という考えでした。

その代わりに、筋肉の限界まで挑戦して動けなくなるまでトレーニングをする方法です。

彼は四日ごとに一回三十分の筋トレを行いました。

僕は彼に憧れ、筋トレ方法を試しました。筋力はつきましたが、見た目が小さくなりました。二週間に一回筋トレを行いました。その理由は、メンツァーの筋トレ方法では、一セットしか行わないからです。

約一月後、僕は二つ目のセットをし始めました。その後、僕の筋力は以前より高くなりました。

この実践でわかったことは、メンツァーの方法が間違っていないということでした。二つ目のセットを追加するだけで、とても効果的だということもわかりました。

ちなみに、僕は彼の本も読みました。興味のある方は、読んでください。

## バブルの危険

最近、僕の心配事や不安が増えてきました。それは、自分自身の問題や世界が不安定である問題です。

自分の問題は、学校での成績・会社で自分のイメージを保つことなどいろいろあります。けれど、僕がこの作文で書きたいことは世界・社会の問題です。

まず、僕も皆さんも、おそらく毎日見て利用しているものの中に隠れた危険があることを感じています。それは、ソーシャルメディアです。

ソーシャルメディアは、利点もたくさんありますし、僕も好きです。しかし、危険を感じるのはソーシャルメディアバブルです。

バブルとは、自分が見たいものしか見られなくなることです。そのバブルに入りすぎると現実が見えなくなります。

バブル問題の実例があります。

多くの人が知っていることですが、地球は丸いです。昔から地球は平らだと言っている人もいましたが、このソーシャルメディアバブルの影響で、この説を支持する人が増えました。一七〇〇年頃は、科学的に地球が丸いと言われていて、それを多くの人が信じていました。

しかし、現在地球の約一〜三パーセントの人々が平らだと信じています。一億二〇五〇万人です。日本の人口くらいです。

おそらく、僕も小さなバブルに入っていると思います。皆さんも変な習慣や教団には気を付け、バブルから出られなくなる前に気がしまししょう。

